



トマトを栽培する全ての皆様へ！（家庭菜園も含まます！！）

福島県県南農林事務所農業振興普及部

おうか はまきびょう

トマト黄化葉巻病の発生に注意!

県南地方で「トマト黄化葉巻病」が発生、拡大しています。トマト産地を守るためには、早期の発見と防除が重要です。トマトやミニトマトを栽培する、トマト生産農家、家庭菜園等で栽培する個人の皆様にもご協力をお願いします。

トマト黄化葉巻病の症状

- ★この病気になったトマトは新葉が黄色くなって葉が巻き、萎縮します。
- ★症状が進むと生育が停止し、その後は実がつかえません。
- ★この病気は治すことができません。

大玉、中玉トマト、ミニトマトで季節を問わず発生します。



写真1 「トマト黄化葉巻病」発病株の新葉付近



写真2 家庭菜園で発生した黄化葉巻病

「タバココナジラミ」という虫がウイルスを保有し、周辺のトマトにトマト黄化葉巻病を広げます。「タバココナジラミ」は、トマト以外に雑草にも生息し、死ぬまでこの病気を感染させます。



体長
0.8mm

とても小さいので、白いホコリが舞っているように見える。

写真3 タバココナジラミ成虫

重要!

トマトを栽培する全ての皆様へお願いしたいこと

1. 雑草は虫のすみかになるため、畑周りの除草をお願いします。
2. トマトやミニトマトに写真1、2のような症状を発見したら、すみやかに病気の株を地際から切断し、株ごとビニールのゴミ袋に入れ、紐でしばって密封した状態で枯死させてください。症状が出た株が1本でも残っていると感染が拡大します！！
3. コナジラミ類が発生した場合は、農薬散布をお願いします。

（お問い合わせ先：県南農林事務所農業振興普及部 電話：0248-23-1563）